

■日時 令和元年8月13日(火) ■天候 曇り 宮崎県立延岡青朋高校・定通 対 クラーク記念国際高校・千葉・通

■球場 葛飾総合スポーツセンター 第2試合 1回戦 ■試合時間 3時間11分 ■備考

■審判 球審:小松 塁審:渡邊 鈴木 大和

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
延岡青朋定通	東九州・宮崎	3	0	5	5	0	0	0	0	1	14	9	3
クラーク千葉	千葉	1	4	1	3	0	5	0	2	×	16	8	7

延岡青朋定通

打	得	安	点	ポジション									1	2	3	4	4	5	6	7	8	9		
				遊	中	一	捕	右	中	左	左	中											右	
1	6	2	4	2	三	浦	龍	之	介	右	2	中	2	左	安	左	安			二	併	三	振	
2	4	1	1	1	安	在	純	永	中	2	三	振	遊	失	左	飛			四	球		四	球	
3	5	1	0	0	水	永	蒼		四	球	三	振	二	飛	三	振			三	振		二	ゴ	
4	4	2	1	0	椎	葉	空		投	飛		四	球	死	球	右	飛			左	安		三	振
5	4	1	0	0	北	川	昂	嗣	三	振		三	振	死	球			三	振		三	振	四	球
6	6	2	2	3	小	野	賢	辰	中	安		投	ゴ	三	失			右	2		遊	失	二	ゴ
7	4	2	1	0	山	本	永	遠	死	球		左	安	死	球			三	振		三	振	三	失
8	3	2	0	1	甲	斐	大	地	三	振		死	球	四	球			三	振		三	振	四	球
9	4	1	0	1	黒	木	唯	衣		三	振	三	失	四	球			四	球		三	振	三	振
合計				40	14	9	8	残塁:13 併殺:0																
				備考																				

■バッテリー

投手
椎葉 空
三浦 龍之介
水永 蒼

捕手
北川 昂嗣
小野 賢辰
椎葉 空

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
椎葉 空	1	5	1	1	2	0
三浦 龍之介	2	11	3	2	2	5
水永 蒼	5	27	4	11	6	7

クラーク千葉

打	得	安	点	ポジション									1	2	3	4	5	6	7	8	9		
				遊	中	一	捕	右	中	左	左	中										右	
1	3	3	1	1	宮	本	大	新	二	飛	四	球		左	3		四	球	三	振			
2	4	3	3	6	銀	屋	拓	真	中	3	右	本		遊	ゴ		遊	安		死	球		
3	4	3	0	1	橋	本	裕	輝	四	球	遊	邪		一	失		遊	選		三	振		
4	4	0	0	0	原	田	大	地	四	球		三	振	遊	ゴ		三	振		三	振		
5	5	2	2	1	米	倉	希	海	三	振		右	3			三	振	三	振		中	本	
6	3	1	0	0	豊	田	壱	成		死	球	遊	飛			三	振	三	振		四	球	
7	4	1	1	0	工	藤	優	輝		中	安	三	振		投	ゴ		死	球	三	振		
8	3	1	0	0	渡	辺	統			左	飛			投	ゴ		四	球	三	振			
9	3	2	1	0	中	西	祐	太		一	邪			左	安		四	球	三	振			
合計				33	16	8	9	残塁:3 併殺:1															
				備考																			

■バッテリー

投手
中西 祐太
米倉 希海
銀屋 拓真

捕手
豊田 壱成

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中西 祐太	2 2/3	19	6	6	4	3
米倉 希海	1 1/3	12	1	1	5	4
銀屋 拓真	5	23	2	11	5	0

■戦評

1回戦葛飾総合スポーツセンターの第2試合は2年連続2回目出場の東九州地区代表・宮崎県立延岡青朋高校・定時制・通信制と初出場の千葉県代表・クラーク記念国際高校・千葉・通信制の対戦となった。先攻の延岡青朋は初回1・2番の連続二塁打で率先良く1点をあげる。その後も6番小野の2点適時打でこの回3点を先攻。その裏クラーク記念国際・千葉は2番銀屋が右中間を抜く長打で一気に本塁を突くもタッチアウト。その後四球と敵失で1点を返す。2回裏クラーク記念国際・千葉はこの回から登板した延岡青朋2番手三浦から安打と四死球で二死満塁とし2番銀屋が右翼越え満塁本塁打を打ち5-3と逆転。3回表延岡青朋は2本の安打と四死球に敵失を絡め5点を奪い8-5と逆転に成功。3回裏クラーク記念国際・千葉は三塁打の米倉がワイルドピッチで生還し1点を返す。4回表延岡青朋は前の回途中から登板したクラーク記念国際・千葉の2番手米倉から五つの四死球に敵失と安打で5点を奪いリードを広げる。これ以上離されたくないクラーク記念国際・千葉は4回裏この回から登板した延岡青朋3番手水永から2本の長短打と敵失で3点を返す。追いつくクラーク記念国際・千葉は6回裏三つの四球に内野安打と野選で5点を奪いとうとう14-13と大逆転に成功する。8回裏にも5番米倉の本塁打などで2点を追加したクラーク記念国際・千葉が9回表延岡青朋の反撃を1点で断ち切り16-14で3時間を越える乱打戦を制した。